

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成21年8月20日(2009.8.20)

【公開番号】特開2008-297507(P2008-297507A)

【公開日】平成20年12月11日(2008.12.11)

【年通号数】公開・登録公報2008-049

【出願番号】特願2007-147675(P2007-147675)

【国際特許分類】

C 1 1 D	3/48	(2006.01)
A 6 1 L	9/01	(2006.01)
C 1 1 D	3/37	(2006.01)
C 1 1 D	7/26	(2006.01)
C 1 1 D	7/50	(2006.01)
A 6 1 L	9/14	(2006.01)
A 6 1 L	2/18	(2006.01)
A 6 1 L	2/22	(2006.01)
D 0 6 L	1/20	(2006.01)
B 0 8 B	3/08	(2006.01)
D 0 6 F	39/02	(2006.01)
B 0 1 J	19/08	(2006.01)

【F I】

C 1 1 D	3/48	
A 6 1 L	9/01	H
C 1 1 D	3/37	
C 1 1 D	7/26	
C 1 1 D	7/50	
A 6 1 L	9/01	M
A 6 1 L	9/14	
A 6 1 L	2/18	
A 6 1 L	2/22	
D 0 6 L	1/20	
B 0 8 B	3/08	Z
D 0 6 F	39/02	Z
B 0 1 J	19/08	D

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月2日(2009.6.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

極限粘度法で求めた平均分子量が $5 \times 10^6$ 以上で、直鎖状のポリ(メタ)アクリルアミドの0.0001~0.01重量%水溶液あるいは水分散液(A)と式(1)で示されるポリ(ポリメチレンビグアナイド)塩酸塩(B)と、プロピレングリコール、ジプロピレングリコール、トリプロピレングリコール及びグリシンからなる群から選ばれる少なくとも1種以上の化合物(C)とを含んでなる清浄化剤。

[ - ( C H<sub>2</sub> )<sub>m</sub> - N H - C ( N H ) - N H - C ( N H ) - N H - ( C H<sub>2</sub> )<sub>n</sub> - ]<sub>p</sub> H  
C 1 ( 1 )

( 式中、 m、 n が 2 ~ 5 の整数であり、 p は 5 ~ 16 の整数である。 )

【請求項 2】

前記ポリ(メタ)アクリルアミド水溶液あるいは分散液( A )が、乾燥することにより固形分濃度が上昇し、保水性ゲルを形成するものである請求項 1 記載の清浄化剤。

【請求項 3】

前記化合物( C )が、グリシンである請求項 1 又は 2 記載の清浄化剤。

【請求項 4】

前記ポリ(メタ)アクリルアミドが、両性荷電重合体である請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の清浄化剤。

【請求項 5】

水溶性アクリル系共重合体を含む請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の清浄化剤。

【請求項 6】

前記水溶性アクリル系共重合体が、(メタ)アクリル酸 - (メタ)アクリル酸エステル共重合体のアンモニウム塩である請求項 5 記載の清浄化剤。

【請求項 7】

水溶性無機塩を含む請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の清浄化剤。

【請求項 8】

ゲル化剤を含む請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の清浄化剤。

【請求項 9】

前記ゲル化剤が、水溶性のアルカリ金属の塩、水溶性の 2 倍のアルカリ土類金属塩、アルミニウム化合物、炭素数が 2 ~ 18 の 2 塩基性カルボン酸及びこれらのアンモニウム塩及びこれらのアミン塩及びこれらのアミノアルコール塩、水溶性高分子化合物のジヒドラジド、グルタールアルデヒド、グリオキザールからなる群から選ばれる少なくとも 1 種である請求項 8 記載の清浄化剤。

【請求項 10】

前記ゲル化剤が、前記ポリ(メタ)アクリルアミドが陰性荷電重合体又は陽性荷電重合体である場合、いずれも逆荷電のポリ(メタ)アクリルアミド及び / 又は他の高分子化合物の塩類の水溶液である請求項 8 記載の清浄化剤。

【請求項 11】

脂肪酸塩又はその誘導体を含む請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の清浄化剤。

【請求項 12】

相間移動触媒として、第四級アンモニウム塩、グリコールエーテルまたはクラウンエーテルのいずれかを含む請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の清浄化剤。

【請求項 13】

炭素数が 4 ~ 12 のアルコールアミンを含む請求項 1 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の清浄化剤。

【請求項 14】

磁性物質を含む請求項 1 ~ 13 のいずれか 1 項記載の清浄化剤。

【請求項 15】

前記磁性物質が、微粉末状の鉄、コバルト、ニッケル、マグнетイト又はこれらの金属を界面活性剤で分散させた磁性流体のいずれか 1 種以上である請求項 14 記載の清浄化剤。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

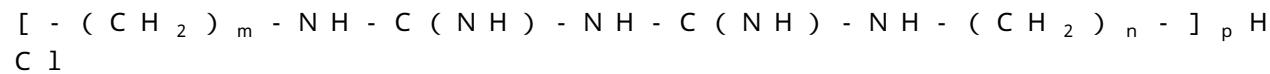
【補正の内容】

【0014】

すなわち、本発明は、極限粘度法で求めた平均分子量が  $5 \times 10^6$  以上で、直鎖状の

ポリ(メタ)アクリルアミドの0.0001~0.01重量%水溶液あるいは水分散液(A)と式(1)で示されるポリヘキサメチレンビグアナイド塩酸塩(B)と、プロピレングリコール、ジプロピレングリコール、トリプロピレングリコール及びグリシンからなる群から選ばれる少なくとも1種以上の化合物(C)とを含んでなる清浄化剤を提供するものである。

式(1)



(式中、m、nが2~5の整数であり、pは5~16の整数である。)

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

本発明の清浄化剤は、溶剤としてプロピレングリコール、ジプロピレングリコール、トリプロピレングリコール及びグリシンからなる群から選ばれる少なくとも1種以上の化合物(C)を含むものである。

これらは、前記PHMB(B)の溶解性に優れ、除菌、消臭性を効果的に発揮することができる。